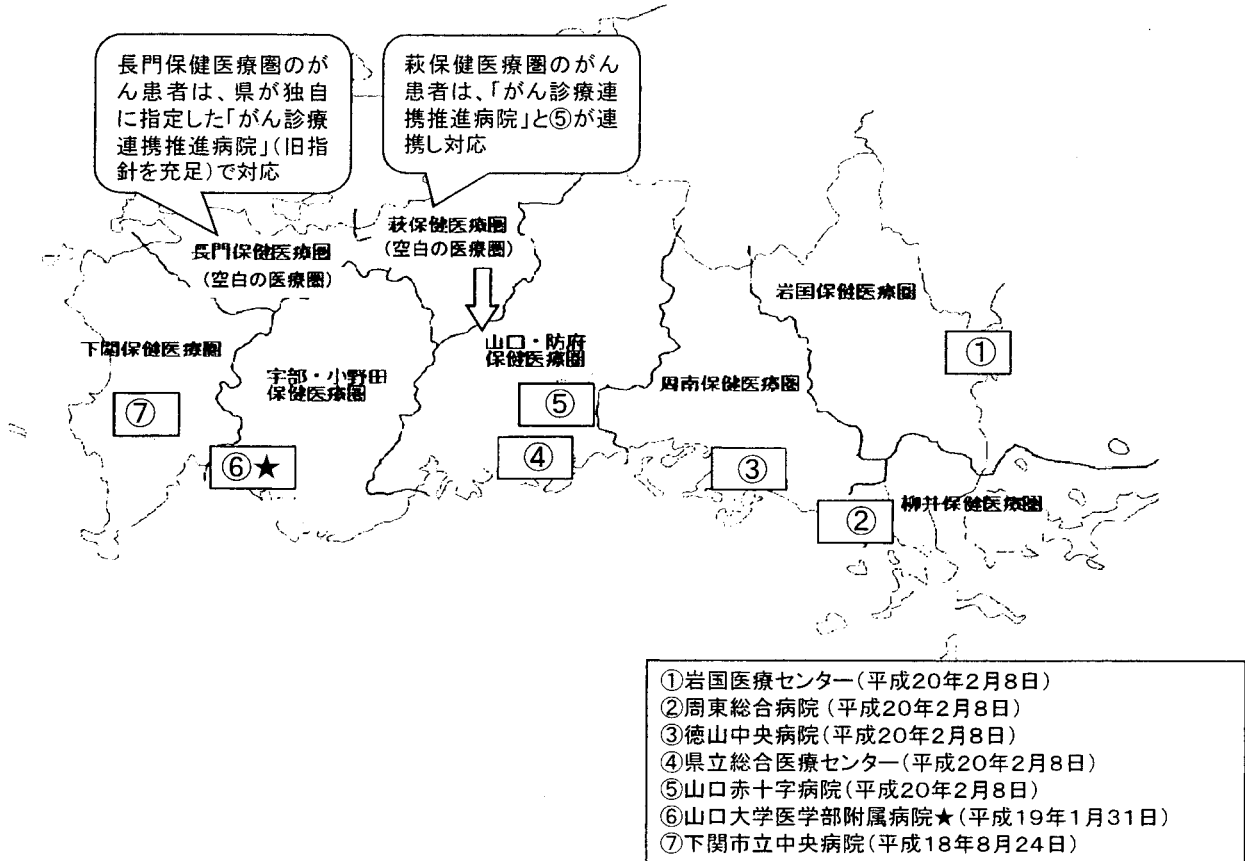


35 山口県

-92-

資料1

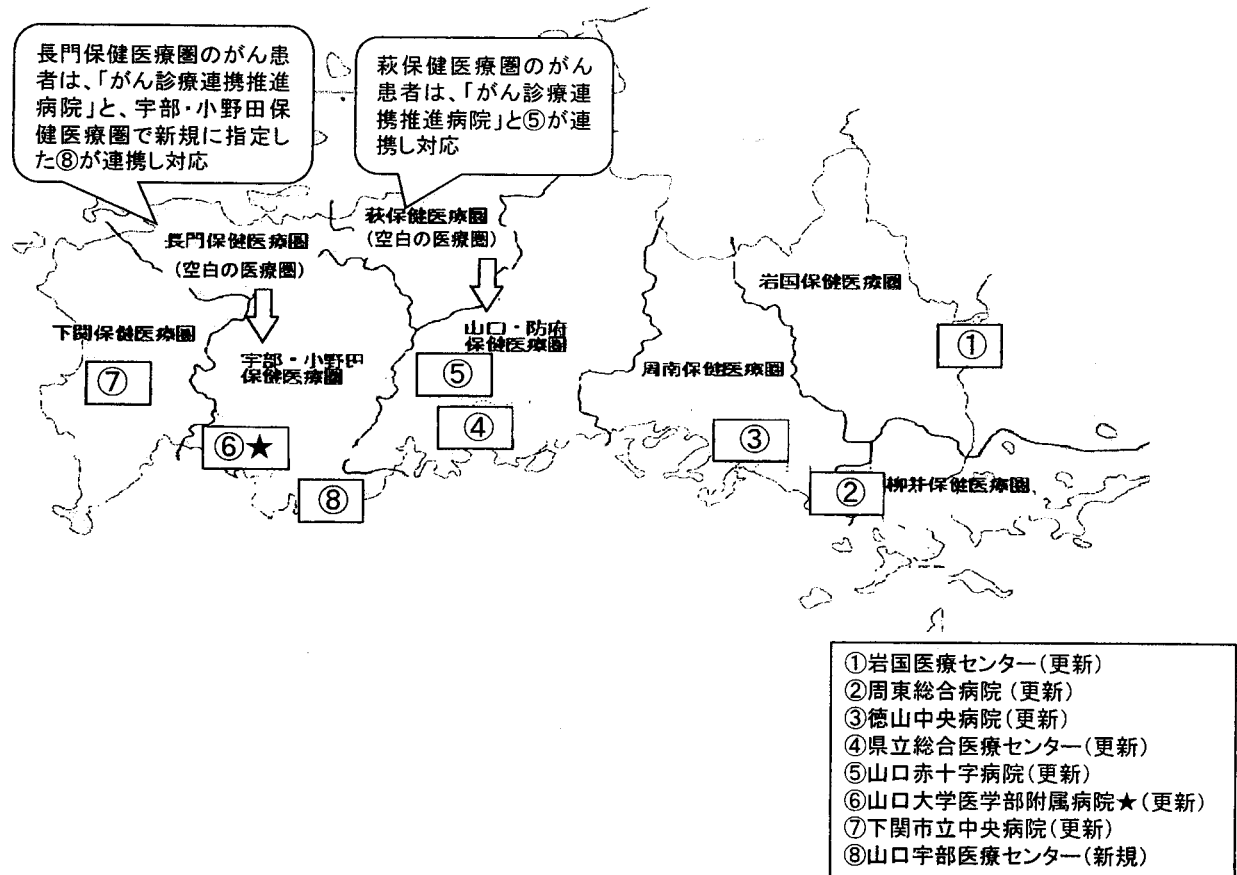
山口県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



-93-

都道府県 or 地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計												放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
			年間新入院患者数(1月~12月)	年間新入院がん患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん手術		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院共同指導料2(6~7月の集計)	
						開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	内視鏡手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数				外来患者数
1	更新	岩国医療センター	(1,558)	(14.2)	(82)	(5)	(2)	(6)	0	(7)	(1)	(5)	(18)	(8)	0	(216)	0	(175)	(75)	(9)	(226)	0	
			1,743	16.0	139	7	0	8	0	6	3	6	0	7	0	195	0	50	103	8	257	0	
2	更新	周東総合病院	(1,262)	(21.4)	(54)	0	(5)	(7)	0	(14)	0	(2)	(4)	(7)	0	(86)	0	(71)	(473)	(9)	(45)	(2)	
			1,303	19.9	71	0	2	4	0	21	1	4	12	6	0	96	0	89	544	7	32	4	
3	更新	徳山中央病院	(1,236)	(12.0)	(182)	(2)	(5)	(23)	(1)	(17)	(5)	(2)	(20)	(11)	0	(230)	0	(168)	(188)	(8)	(152)	0	
			1,565	14.5	163	0	1	13	1	16	7	3	13	14	0	236	0	192	195	10	151	0	
4	更新	県立総合医療センター	(1,576)	(15.5)	(91)	(2)	(7)	(5)	0	(13)	0	(3)	0	(7)	0	(157)	(7)	(173)	(110)	(4)	(137)	0	
			1,429	15.1	84	4	0	6	0	10	2	2	0	14	0	117	4	340	280	8	202	0	
5	更新	山口赤十字病院	(1,549)	(16.9)	(50)	0	(2)	(2)	(4)	(8)	0	(1)	(1)	(5)	0	(140)	0	(52)	(65)	(7)	(24)	0	
			1,298	14.7	48	2	1	7	0	6	4	1	2	10	0	171	0	39	53	4	66	0	
6★	更新	山口大学医学部附属病院	(4,193)	(34.3)	(193)	0	(7)	(12)	(1)	(16)	0	(6)	(9)	(15)	0	(404)	(11)	(272)	(474)	(35)	(71)	(1)	
			4,313	33.1	117	1	7	5	0	14	1	4	11	15	0	425	14	259	411	2	89	0	
7	更新	下関市立中央病院	(1,575)	(23.0)	(72)	(4)	(5)	(5)	0	(8)	(1)	0	(5)	(8)	0	(286)	0	(341)	(76)	(2)	(83)	0	
			1,498	22.1	58	0	6	4	4	11	15	1	1	3	0	271	0	82	158	4	57	2	
8	新規	山口宇部医療センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			1,242	50.4	51	5	39	0	0	2	1	0	0	3	0	192	0	153	126	13	43	1	

山口県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



【指定推薦に係る考え方】

- がんは本県の死亡原因の第1位であり、本県では平成20年3月に策定した「山口県がん対策推進計画」に基づき、地域のがん医療の中核を担うがん診療連携拠点病院の整備を推進するなど、がん医療の均てん化や質の向上を図っているところである。
- 地域がん診療連携拠点病院については、各地域において等しく質の高いがん医療を提供するため、二次医療圏ごとの整備を基本とするとともに、指定要件を満たす地域がん診療連携拠点病院がない医療圏(萩、長門医療圏)については、がん診療連携拠点病院に準ずる病院を県独自に「がん診療連携推進病院」として指定(旧整備指針を充足)し、隣接する地域がん診療連携拠点病院と連携を図りながら、がん医療の水準向上に努めていくこととしている。
- 本県では、現在、8つの二次医療圏のうち、6医療圏において7病院ががん診療連携拠点病院の指定を受けており、このうち、宇部・小野田医療圏の山口大学医学部附属病院は、都道府県がん診療連携拠点病院として県がん診療連携の中核的役割を担っている。この山口大学医学部附属病院を中心に各拠点病院間でのより緊密なネットワーク網を形成し、全ての県民がいつでも、どこでも安心して質の高いがん医療が受けられる体制を構築していくこととしている。
- 今回は、引き続き6医療圏において7病院を地域がん診療連携拠点病院として更新推薦するとともに、がん診療連携拠点病院のない長門医療圏に係るがん医療の補完、本県のがん死亡で一番高い死亡率の肺がんに係る高度な専門医療の提供、さらには緩和ケア病棟を有し県下の緩和ケア診療体制の向上にも努めている山口宇部医療センター(宇部・小野田医療圏)を地域がん診療連携拠点病院として新規推薦する。

《山口宇部医療センターの概要》

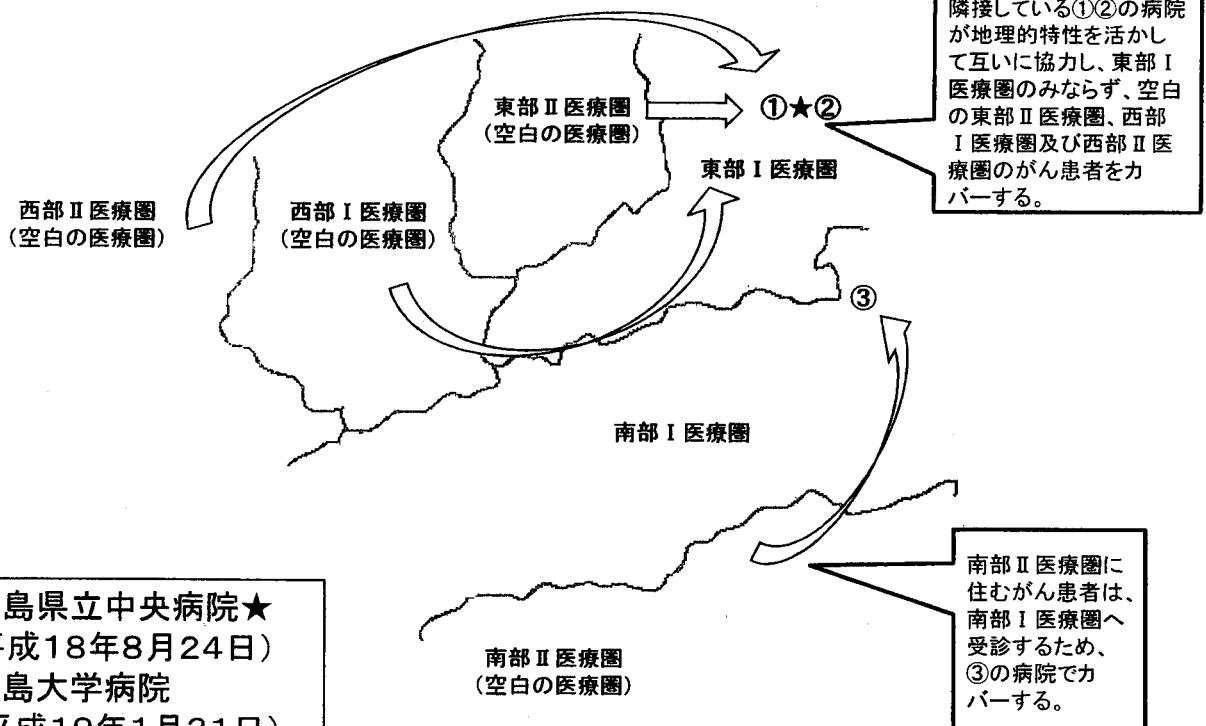
- 手術に加え、化学療法、放射線療法等、集学的治療を行っており、緩和ケアにいたる全ての分野において専門医が最先端の医療を提供しており、特に、本県のがん死亡で一番高い死亡率を示している肺がんについては、手術件数(年間200件以上)では全国トップクラスの実績を有し、また、県内医療機関と連携し、肺がん患者を受け入れる(年間約700人)とともに各種研修を実施するなど、県内における呼吸系がん医療水準の向上に大きな貢献を果たしている。さらに、腫瘍内科医や呼吸器系外科医を増員(いずれも県外から)することにより、呼吸器系に関する診療機能の充実のみならず、他のがん拠点病院の診療水準の向上支援にも努めている。
- 緩和ケアに関しては、県内で初の緩和ケア病棟を平成10年に整備(25床)するとともに、緩和ケアチーム、緩和ケア外来などの充実も図るなど治療から終末期ケアまで対応できる体制が整っていることから、当医療圏内で緩和ケア病棟がない山口大学医学部附属病院の緩和ケア機能を補完する役割を果たすと同時に、県内の医師、看護師など医療職全体を対象とした当院独自の緩和ケア研修会を定期的開催するなど、県内の緩和ケア診療体制の向上に努めている。
- がん診療連携拠点病院がない隣接の長門医療圏に対しては、肺がんをはじめとして 同医療圏の医療機関と連携を図り、がん診療連携推進病院を補完する形で患者を受け入れている。さらに、患者の退院後も同医療圏の病院と患者情報を共有し、病状悪化時等に備えた後方支援を行っている。
- 以上のように、がん診療連携拠点病院のない隣接の長門医療圏の補完のみならず、呼吸器系腫瘍医療や緩和ケア医療については全県的な取組が期待されることから、このたび新たに地域がん診療連携拠点病院として指定推薦するものである。

36 徳島県

-98-

資料 1

徳島県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



- ①徳島県立中央病院★
(平成18年8月24日)
- ②徳島大学病院
(平成19年1月31日)
- ③徳島赤十字病院
(平成19年1月31日)

-99-

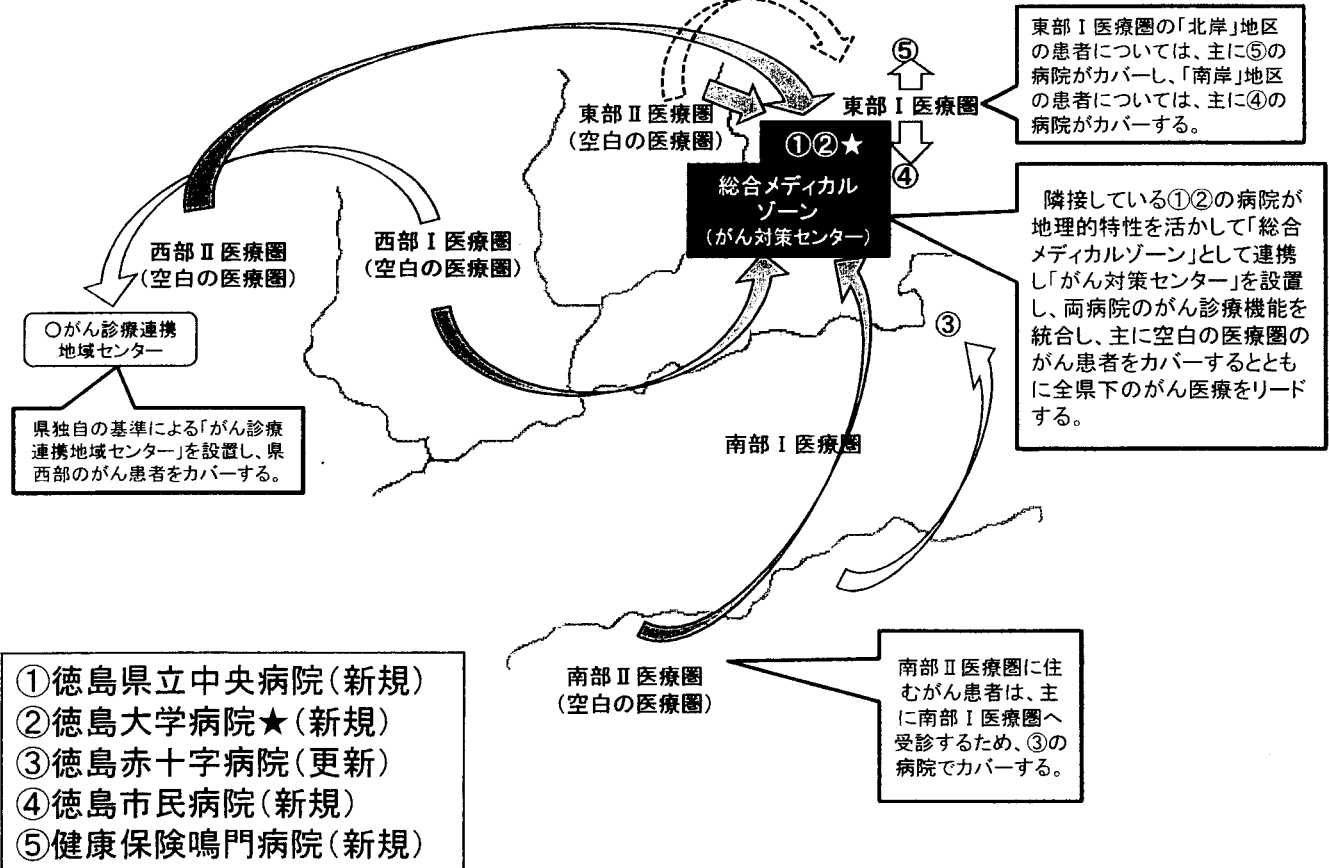
※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料 2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院 名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月の 集計)		緩和 ケア	相 談 支 援 セ ン ター	地 域 連 携		
			年間 新 入 院 が ん 患 者 数 (1月 ~12 月)	年間 新 入 院 患 者 数 に 占 め る が ん 患 者 の 割 合 (%)	悪 性 腫 瘍 手 術 総 数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チ ーム に 対 す る 新 規 診 療 依 頼 数 (6~7 月の 集計)	相 談 支 援 セ ン ター 相 談 件 数 (6~7 月の 集計)	退 院 共 同 導 料 2 (6~7 月の 集計)	
						開 胸 手 術	胸 腔 下 手 術	開 腹 手 術	内 視 鏡 手 術 粘 膜 切 除 術 (EM R)	開 腹 手 術	内 視 鏡 手 術	開 腹 手 術	ラ ジ オ 波 焼 灼 療 法	乳 癌 手 術	乳 房 再 建 術 (乳 房 切 除 後) 二 期 的 に 行 う も の	体 外 照 射	小 線 源 治 療	入 院 患 者 数	外 来 患 者 数				
1	★	新規	徳島 大学 病院	(3404) 3936	(42.5) 36.7	(304) 401	(14) 2	(13) 11	(6) 13	(1) 0	(3) 5	(0) 0	(10) 5	(30) 24	(14) 15	(3) 0	(872) 756	(88) 91	(256) 290	(206) 720	(7) 17	(407) 144	(0) 0
2		新規	徳島 県立 中央 病院	(1747) 1743	(19.7) 20.3	(151) 166	(1) 2	(8) 13	(9) 4	(0) 1	(12) 13	(9) 8	(0) 0	(5) 28	(1) 0	(0) 0	(150) 108	(0) 0	(97) 94	(70) 50	(16) 14	(71) 61	(0) 0
3		更新	徳島 赤十 字病 院	(1659) 1589	(12.5) 11.7	(90) 148	(0) 4	(2) 1	(4) 6	(2) 0	(12) 15	(2) 4	(2) 3	(6) 2	(6) 4	(0) 0	(232) 216	(0) 0	(184) 115	(238) 415	(13) 22	(67) 43	(0) 0
4		新規	徳島 市民 病院	1564	22.7	80	0	4	4	0	8	0	1	6	6	0	108	0	116	180	13	18	0
5		新規	健康 保険 鳴門 病院	971	17.1	39	0	0	4	0	5	3	0	0	0	0	66	0	60	60	12	72	0

資料 3

徳島県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



指定更新推薦等に係る徳島県の考え方

1. 基本的な考え方

(1)「総合メディカルゾーン」主導による県下のがん医療水準の向上を図ります。

県立中央病院と徳島大学病院は、隣接している地理的特性を最大限に活かすため、「総合メディカルゾーン」として一体的に整備し、県下の診療・教育・研究の一層の発展のため、連携を進めていくことを平成17年8月に合意しています。

「総合メディカルゾーン」は、「地域医療再生計画」においても、「徳島がん対策センター(仮称)」を設置し、両病院の高度先端医療機器や専門職の相互活用など、がん診療機能を統合することでがん先端医療を提供するとともにがん診療連携拠点病院のない地域におけるがん医療を支援するなど、本県のがん医療をリードします。

(2)「地域がん診療連携拠点病院」を追加するとともに、県独自の基準を設け、がん医療の均てん化とネットワーク体制を整備します。

現在のところ、東部Ⅱ、南部Ⅱ、西部Ⅰ、Ⅱの各医療圏にはがん診療連携拠点病院の指定要件を満たす病院がなく、指定要件である高度医療機器の整備や専門医師の配置を各医療圏に整備することは、近年中には困難な状況であると考えます。

このため、指定要件を満たしている東部Ⅰ医療圏内の徳島市民病院と健康保険鳴門病院を地域がん診療連携拠点病院とし、本県の「がん診療の質の向上」及び「がん診療の連携協力体制」の整備促進を図ります。

また、県独自の基準を設け、「がん診療連携拠点病院に準ずる病院」(「がん診療連携地域センター」(仮称))を空白の医療圏(西部Ⅱ)において指定し、県内のがん医療の均てん化を図るとともに、がん診療連携拠点病院とのネットワーク化を推進します。

2. 東部Ⅰ医療圏において複数の病院が指定されることの効果

(1)本県の地理的特徴による圏域内のがん医療支援体制が構築されます。

東部Ⅰ医療圏は、県下最大人口を保有する徳島市、そのベッドタウン的位置づけで人口増加傾向にある板野郡の藍住町、北島町、松茂町を含む地域であり、県人口の約57%を占めています。

圏域内のがん医療提供体制をさらに強化するために、「徳島市民病院」と「健康保険鳴門病院」を「地域がん診療連携拠点病院」に推薦します。本県の地理的特徴として、県の中央を吉野川が流れており、その「北岸」については「健康保険鳴門病院」が、「南岸」については「徳島市民病院」が中心となって圏域内におけるがん医療を支援します。

(2)専門診療医療機関によるがん医療体制の構築がより一層促進されます。

「徳島県保健医療計画」及び「徳島県がん対策推進計画」の中で、本県のがん医療体制を構築するため、「専門診療医療機関」「標準診療医療機関」を定めることとしております。

「徳島市民病院」と「健康保険鳴門病院」はともに専門診療医療機関であり、本県の医療体制の中心として、標準診療医療機関、その他の医療機関との連携体制を整えるとともに、検診から在宅医療まで切れ目のない医療提供体制を推進する中心的役割を担っています。

以上のことから、両病院が「地域がん診療連携拠点病院」として指定されることにより、がん医療体制の構築がより一層促進されると考えております。

3. 指定要件に係る補足説明 (「徳島県がん診療連携協議会」について)

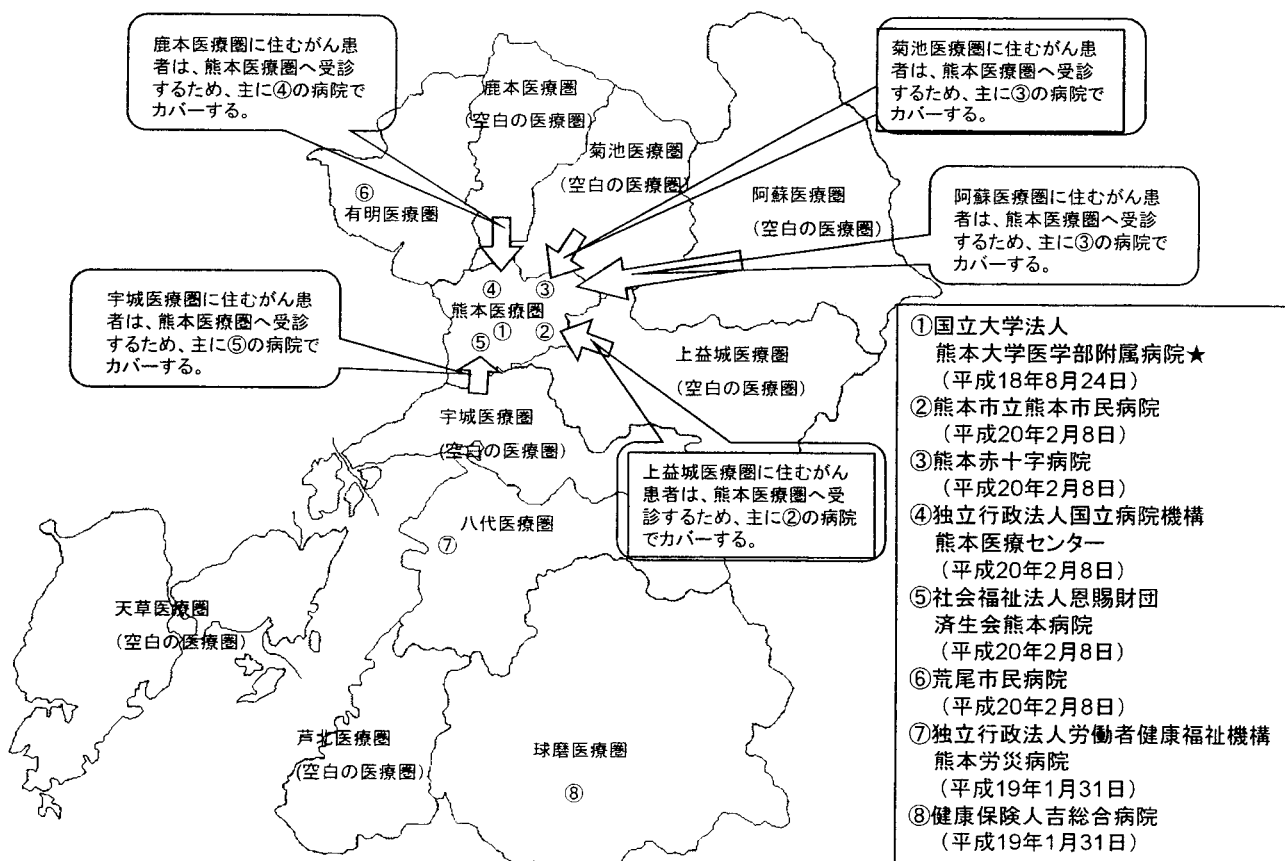
現在、「徳島県がん診療連携協議会」は県立中央病院の主催により開催されておりますが、徳島大学病院が都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けた場合は、同病院主催により平成22年3月末までに同協議会を開催する旨の確約書が提出されています。

43 熊本県

-104-

資料 1

熊本県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

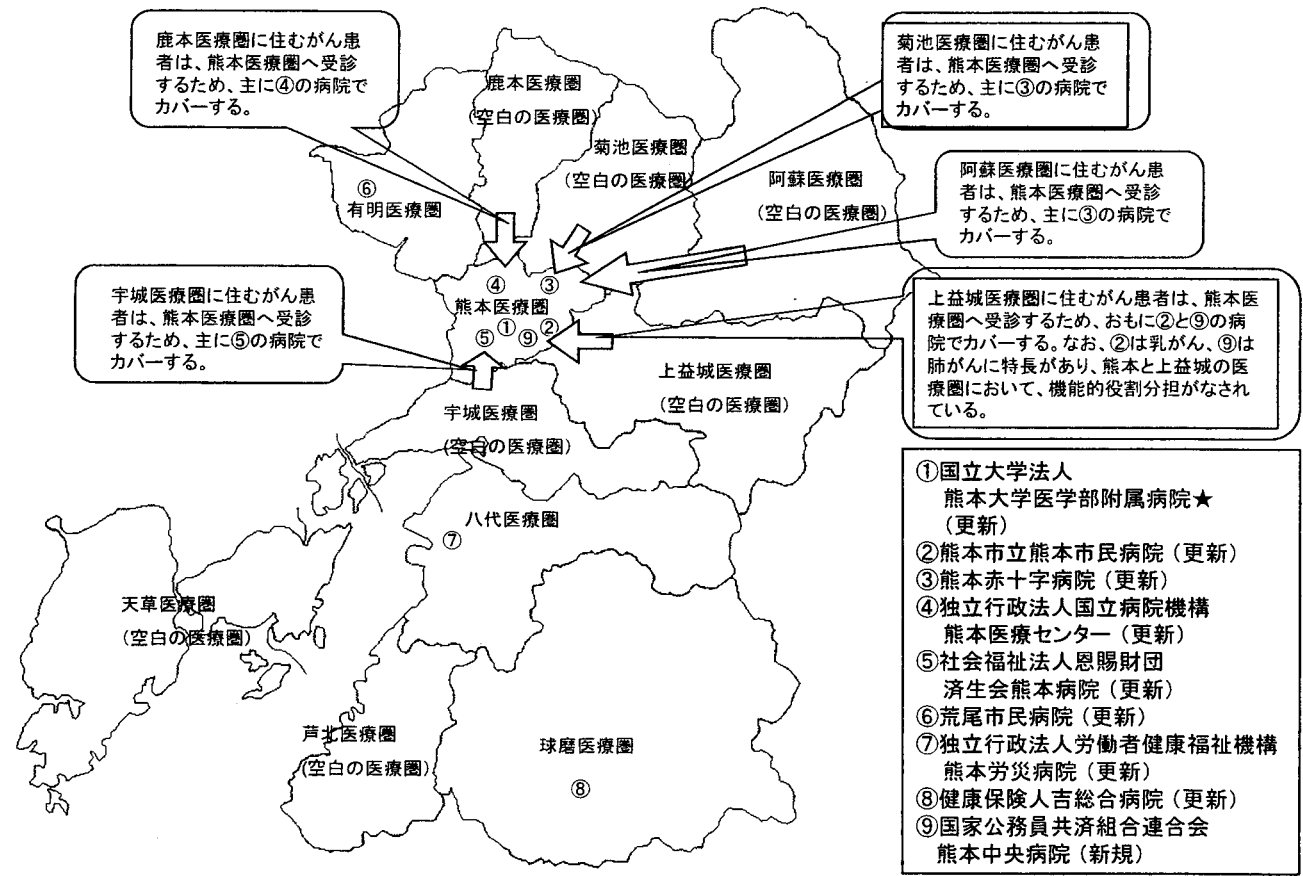


-105-

※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

都道府県 申請 区分 地域	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
		年間 新入院 がん患者 数(1月~12月)	年間 新入院 患者数に 占める がん患者 の割合 (%)	悪性 腫瘍 手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数 (1月~12月)	薬物療法 の患者 数	緩和ケ アチーム に対する 新規診療 依頼数 (6~7月 の集計)	相談支 援セン ター 相談件 数 (6~7月 の集計)	退院 時共 同指 導料 2 (6~7月 の集計)		
					開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視鏡 手術 粘膜切 除術 (EMR)	開腹手 術	内視鏡 手術	開腹手 術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房再 建術(乳 房切除 後)二 期的に 行うもの						体外照 射	小線 源治 療
1	更新 熊大医学部附属病院	(6973) 6724	(53.1) 48.8	(275) 390	(1) 1	(14) 19	(6) 4	(1) 4	(2) 8	(3) 0	(11) 17	(34) 25	(20) 28	(0) 0	(475) 544	(17) 18	(0) 0	(17) 14	(48) 126	(0) 1	
2	更新 熊本市市民病院	(2192) 2194	(21.0) 20.9	(132) 176	(0) 0	(2) 3	(5) 6	(0) 2	(7) 7	(1) 3	(0) 0	(0) 1	(37) 66	(0) 0	(397) 368	(0) 0	(122) 170	(170) 170	(10) 8	(45) 166	(1) 8
3	更新 熊本赤十字病院	(1977) 2363	(13.0) 16.3	(104) 208	(0) 3	(1) 4	(5) 9	(1) 0	(15) 22	(8) 14	(2) 2	(4) 3	(8) 4	(0) 0	(334) 375	(89) 54	(155) 121	(132) 139	(45) 16	(29) 30	(0) 3
4	更新 熊本医療センター	(2546) 2579	(19.4) 19.6	(85) 109	(0) 0	(0) 0	(2) 4	(0) 4	(7) 12	(0) 2	(1) 12	(0) 0	(1) 0	(0) 0	(325) 288	(26) 59	(202) 238	(90) 102	(11) 7	(51) 192	(0) 0
5	更新 済生会熊本病院	(2388) 1695	(19.1) 18.9	(297) 312	(1) 2	(14) 22	(7) 13	(2) 2	(21) 22	(10) 7	(6) 2	(1) 1	(3) 6	(0) 0	(238) 256	(0) 0	(66) 81	(215) 224	(42) 30	(211) 186	(0) 0
6	更新 荒尾市民病院	(702) 677	(19.7) 19.4	(54) 46	(0) 0	(0) 0	(3) 0	(0) 18	(0) 7	(2) 0	(0) 1	(1) 0	(2) 0	(0) 0	(121) 132	(0) 0	(24) 59	(23) 65	(7) 24	(21) 111	(0) 0
7	更新 熊本労災病院	(430) 1470	(4.8) 16.5	(71) 68	(0) 0	(2) 5	(3) 1	(4) 0	(2) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 7	(0) 0	(96) 83	(0) 0	(31) 53	(57) 74	(11) 10	(10) 135	(1) 0
8	更新 人吉総合病院	(745) 771	(16.9) 17.1	(48) 43	(1) 0	(5) 3	(9) 7	(1) 0	(4) 5	(2) 3	(0) 3	(0) 1	(8) 3	(0) 0	(105) 126	(0) 0	(44) 74	(44) 102	(5) 5	(335) 58	(0) 0
9	新規 熊本中央病院	1728	20.3	133	7	26	0	0	9	0	0	0	1	0	290	0	76	85	30	44	0

熊本県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



1 熊本県の各二次医療圏の状況

(1) 熊本医療圏と隣接する医療圏の状況

- ・本県の人口、医療資源は熊本市を圏域とする熊本医療圏に集中
病院数90で県全体の41%を占める。
- ・熊本医療圏に隣接する宇城、鹿本、阿蘇、上益城の5医療圏は、熊本医療圏にある医療機関での受療割合が高く、当該5医療圏には、現在、がん診療連携拠点病院の指定要件を満たす医療機関が立地していない。
- ・熊本医療圏に立地する医療機関が隣接する各医療圏の拠点性を担っていることを踏まえて、担当の医療圏を設定のうえ、がん診療連携拠点病院を指定し、それぞれの医療圏の均てん化を図ることが必要。

(2) その他の医療圏の状況

- ・有明、八代、球磨の3医療圏においては、各圏域において拠点性を有し指定要件を満たす医療機関を推薦。
- ・芦北、天草の2医療圏は、受療状況からも同圏域内での受療割合が高いが、がん診療連携拠点病院の指定要件を満たす医療機関が無く、がん医療の均てん化を図るうえで、課題が残る圏域である。

2 担当医療圏

- ・熊本県の各二次医療圏の状況を踏まえた担当医療圏一覧

病院名	担当医療圏	病院名	担当医療圏
熊大医学部附属病院	全県	済生会熊本病院	熊本、宇城
熊本市民病院	熊本、上益城	荒尾市民病院	有明
熊本中央病院		熊本労災病院	八代
熊本医療センター	熊本、鹿本	人吉総合病院	球磨
熊本赤十字病院	熊本、菊池、阿蘇		

※ 熊本市民病院と熊本中央病院の機能的役割分担について

熊本市民病院と、熊本中央病院は担当する2つの医療圏が同じであるが、熊本市民病院では乳がん、熊本中央病院では肺がんについての手術件数等が、それぞれ県内トップであり、それぞれの特長を生かし、担当する医療圏内において、機能的役割分担がなされている。

部位	新入院患者数 (H21.6~7月)		手術件数 (H21.6~7月)		放射線治療患者実人数 (H21.6~7月)	
	熊本市民	熊本中央	熊本市民	熊本中央	熊本市民	熊本中央
全	366	320	176	133	-	-
肺	24	111	3	33	3	28
胃	10	26	8	1	0	0
大腸	19	31	10	9	0	0
肝臓	11	4	1	0	2	2
乳	169	6	66	1	39	10

※熊本中央病院は、前立腺がんにおいても、県内全てのがん診療連携拠点病院の手術件数の8割程度(H20.7~12月DPC調査データ(厚生労働省HP掲載値)から集計)を占めており、県全体の前立腺がん治療水準の向上についても、役割を担うことが期待される。